

教科	科目	学年	単位数
教養科学	歴史総合	1年	2
使用教科書		副教材	
『Read&Think 歴史総合』（東京書籍）		『Read&Think 歴史総合ワークノート』（東京書籍） 『明解歴史総合図説 シンフォニア』（帝国書院）	

1. 学習到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することをめざします。

- ・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにします。
- ・近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養います。
- ・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めます。

2. 評価

a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度や、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。

- ・年4回の定期テストでは、出題範囲に関する「知識・理解」「思考・判断・表現」の状況の評価します。

3. 学習内容（右ページ参照）

学期	月	単元・試験	授業内容（教科書）	その他（到達目標・学習のポイントなど）
1 学 期	4	序章 歴史の扉 第1章 近代化と 私たち	1節 近代化への問い	・「近代化」と自分たちを関連付けて、第1章を通観した問いを立てられる。
	5		2節 アジアの繁栄と西洋近代の形成	・18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に影響を与えことを理解できる。 ・欧米の産業革命・市民革命によって近代的な政治・経済の仕組みが誕生したことを理解した上で、その結果形成された国民国家の特質を理解できる。「世界市場」「資本主義」「近代社会」の特徴について、「自由と制限」「平等と格差」「統合と分化」「開発と保全」の観点に基づいて説明することができる。また、近代の形成過程における複雑性について、「対立と協調」をキーワードに概観することができる。
	6	《定期試験》		
	7		3節 世界の一体化と多様な近代化	・欧米の進出に対して、日本を含めたアジア諸国がさまざまな改革や抵抗で対処する様子を理解できる。また、その中からやがて立憲体制と国民国家形成を主軸とする「近代化」がアジア諸国の中から生まれる過程を理解し、「統合と分化」「自由と制限」「平等と格差」などの観点に基づいて説明することができる。

2 学 期	8	第2章 国際秩序 の変化や大衆化と 私たち		<ul style="list-style-type: none"> ・帝国主義政策の背景や、帝国主義政策がアジア・アフリカ諸国に与えた影響などに注目して、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変化について、「対立と協調」の観点に基づいて理解し、また説明することができる。
	9	《中間試験》	1節 国際秩序の変化や大衆化と私たちへの問い	<ul style="list-style-type: none"> ・「大衆化」と自分たちを関連付けて、第2章を通観した問いを立てられる。また、国際秩序の変化について、中学校までの学習をもとに自身の言葉で表現できる。
	10		2節 第一次世界大戦と大衆社会	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦の推移と大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景などに着目し、第一次世界大戦の総力戦としての性格、日本とアジアおよび太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを考察することで、「対立と協調」の観点に基づいて総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解し、また説明できる。 ・第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを「統合と分化」「自由と制限」「平等と格差」などの観点に基づいて説明できる。
	11	《期末試験》	3節 経済危機と第二次世界大戦	<ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを、「統合と分化」「自由と制限」「平等と格差」などの観点に基づいて説明できる。
	12			<ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦の推移および第二次世界大戦が戦後の世界に与えた影響、戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目し、第二次世界大戦の性格と惨禍、大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを考察することで、「対立と協調」の観点に基づいて第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解し、また表現できる。
			第3章 グローバル化と私たち	1節 グローバル化への問い

3 学 期	1		2節 冷戦と世界経済	<ul style="list-style-type: none"> ・冷戦が各国や地域の政治に及ぼした影響などに着目し、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソ連の政策転換などを「統合と分化」「自由と制限」「平等と格差」「開発と保全」などの観点に基づいて理解し、また説明できる。 ・冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域連携の背景と影響、日本の行動経済成長の背景と影響などに着目し、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを考察し、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を「統合と分化」「自由と制限」「平等と格差」「開発と保全」などの観点に基づいて理解し、また説明できる。
	2		・ 3節 世界秩序の変容と日本	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目し、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを「統合と分化」「自由と制限」「平等と格差」「開発と保全」などの観点に基づいて理解し、また説明できる。その上で、市場経済の変容と課題について考察できる。 ・冷戦の変容と終結の背景、民主化や地域統合の背景と影響、地域紛争の拡散の背景と影響などに着目し、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを「対立と協調」「統合と分化」「自由と制限」「平等と格差」「開発と保全」などの観点に基づいて理解し、また説明できる。その上で、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を考察できる。
	3	《学年末試験》	・ 4節 現代的な諸課題の形成と展望	<ul style="list-style-type: none"> ・科目のまとめとして、現代的な諸課題に関する主題を設定し、事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、多面的・多角的に考察し表現することを通じて歴史的経緯を踏まえながら、持続可能な社会に向けて諸課題の展望を探究する。